

川越市立大東中学校

(様式 4-2 : 令和 5 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる教員支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称： 大好き、大東！～大動脈と廃線路の軌跡～					
2. テーマ： 地域の歴史的環境・交通的環境を見直そう					
3. 実施教科： 総合的な学習の時間					
4. 関連単元：					
5. 実施単元数： 14 時間					
6. 学年	特別支援学級	7. クラス数	2	8. 生徒数	12
9. 実施内容 (1) ガイダンス 【2 時間】 ○大東地区の交通的環境、自然的環境、歴史文化的環境、大東中学校の歴史等の概要 ・交通的環境…国道 16 号、西武鉄道 ・自然的環境…土地利用の様子 ・歴史文化的環境…大東地区に残る歴史的遺物 ・大東中学校…火災で校舎焼失 (2) 国道 16 号の歴史・役割等について 【2 時間】 ●ゲストティーチャー招聘 川越市文化財保護審議会副会長 松尾鉄城 様 ・「道」とは (道路・国道・鉄道) ・国道 16 号と高速道路 (関越道) の関係・働き ・ペリー来航と 16 号 (3) 西武鉄道新宿線について 【2 時間】 ①開業当初 ・ものと人を運ぶ鉄道 ・「南大塚」駅等の役割 ・歴史の教科書にも登場する人物を運んだ西武鉄道 ②現在 ・ホームの位置変更の意図 ・南北の出入り口とロータリーの開設 (駅前開発)					

(4) 廃線路 西武鉄道安比奈線について【3 時間】

①安比奈線とは

- ・ 歴史的背景と敷設の意図
- ・ 入間川の「砂利」採取
- ・ 砂利の活用方法
- ・ 川砂利採取による環境への影響

②安比奈線フィールドワーク

- ・ 廃線跡を歩く
- ・ 大東地区の環境

(5) 地域の歴史的環境について【4 時間】

●ゲストティーチャー招聘

川越市文化財保護審議会副会長 松尾鉄城 様

①地図の見方

- ・ 大東地区の歴史的環境を地図から俯瞰的に見る
- ・ 地図の折り方、使い方、地図記号の確認

②大東地区の歴史的環境フィールドワーク

- ・ 忠魂碑、忠霊塔
- ・ 山王塚古墳
- ・ 西福寺、菅原神社
- ・ 馬頭観音
- ・ 旧 16 号（入間川街道）と現在の国道 16 号を歩く

(6) 学習のまとめ【1 時間】

- ・ 学習の振り返り
- ・ 楽しかったこと、初めて知ったこと、また見てみたいことなど

10. 学習のながれ：

(1) はじめに

学習計画を作成するにあたって、講師を招聘し、現場や生の声を子供たちに届けようとしたが、計画段階から思うように講師が決まらなかった。

貴財団にも西武鉄道に掛け合っていたが、講師の招聘や廃線路内の探索等をお願いしたものの、受け入れていただくことができなかった。

また、国道16号の学習でも、菓子メーカーのロッテ狭山工場に講師依頼を試みたものの、今回の学習にある交通にあたる「物流」部門での依頼は断られてしまった。物流に係る内容は、現在は行っていないということだった。学習前から指導計画を大きく見直さざるを得ない状況となった。

(2) 地域の取材から

そこで、まずは自分自身が地域を歩き回り、地域の方への取材（聞き取り調査）をすることで、新たな地域人材の発掘や地域素材を見つけることにした。

そんななかで、最初に出会った方が以前南大塚駅近くでお茶屋を開いていた古牧様である。60年以上前の大東中学校の卒業生ということあって、当時の卒業アルバムや写真など多くの歴史的資料を提供していただいた。

また、戦後は忠霊塔横の手水をつくる際、女子生徒は入間川まで行き、手水場に合いそうな小石拾いをしたという。

次に、お会いした方が雑貨屋を営む橋本様である。戦前から南大塚駅近くで商店を開いていることもあり、多くの写真資料をご提供いただき、授業で活用させていただいた。『写真で見る川越』にも、たくさんの写真資料を提供していることもあって、今回の交通環境や大東地区に係る写真資料を数多く提供していただいた。

(3) ガイダンス

聞き取り調査や提供していただいた写真資料等を活用し、大東ガイダンスの授業を展開した。今では想像できない程、駅周辺はお茶畑が広がっていたことなどを写真資料で紹介した。また、お茶の他にも桑畑やじゃがいも、お米などの多くの農作物が育てられた豊かな土地だったことを子供たちは学習した。また、古牧様から提供していただき学校の写真をもとに、戦後本校は火事で校舎を焼失していることを話し、子供たちはとても驚いていた。

(4) 国道16号

本市の文化財保護審議会副会長の松尾鉄城様を講師にお迎えし、国道16号の歴史や役割（働き）について授業をしていただいた。

松尾様には、最終的には大東地区のフィールドワークまでご担当していただくことを前提に講師依頼をさせていただき、ご快諾をいただけたことが本当にありがたかった。

講師からは、国道16号と高速道路との密接な関係を物流や旅行（おでかけ）の視点から話していただいた。また、16号は日本経済を支える重要な道路であることも紹介してもらった。

また、16号とは名付けられていなかった江戸時代も、ペリー来航で川越藩藩士らが浦賀や久里浜に向かうために使った道であることを話していただき、歴史的にも重要な交通路であったことを子供たちは理解した。

(5) 西武鉄道安比奈線

雑貨屋を営む橋本様から提供していただいた写真を活用しながら、大東地区の鉄道を主とした交通的環境を学習した。

最初は、現在の西武新宿線南大塚駅について。昔の駅の改札口の様子や駅のホーム位置が移動した経緯を現在の駅の様子から考え、地域の発展が変化を生んだことを子供たちは理解した。

次に、旧安比奈線について。何を運んだのか、何のために運んだのか、なぜそもそも敷設に至ったのかなど、当時の歴史的背景をもとに安比奈線の役割について考えた。

また、砂利を採取することが経済の発展につながった一方で、砂利の採取が水深を浅くし、魚などのすみかを奪うことなど環境の悪化を招いてしまったことを考えた。

このような学習（座学）をもとに、子供たちと一緒に安比奈線フィールドワークに取り組んだ。実際に西武鉄道管理区内に入ることはできなかったが、線路横の小道を歩いたり、生活道路を横切る線路は実際に触ったりしながら当時の様子を想像させた。子供たちは、身近に古い線路が残っていることに驚くとともに、線路の様子をデジカメに収めたり、「地域に残していきたいものだ。」「産業や経済を支えたことを、みんなに知ってもらいたい。」と感想を書いた生徒もいた一方で、「もう使っていないのだから、家を建てればいい。」という感想をもった生徒もいた。このような感想をもとに、線路を残す残さないの議論をとおして地域の活性化策などを話し合える展開ができればいいと思うが、次年度以降の課題としたい。

(6) 大東地区の歴史的環境

再び、本市の文化財保護審議会副会長の松尾鉄城様を講師にお迎えし、大東地区の歴史的環境について授業をしていただいた。

まずは座学として、地図を活用しながら、地図の基本的な見方や活用方法について学び、大東地区内の歴史的遺物等を地図上でその位置を確認し、フィールドワークの計画を立てた。そのなかで、内閣総理大臣の重職にも就いた西園寺公望も大東ゆかりの人物であることや令和5年3月20日に国の史跡に指定された山王塚古墳などについて説明した。

また、市販されている川越の地図を活用し、地図記号や大東地区の土地利用の様子、地図の折り方などについても学習した。

このような学習をもとに、子供たちと一緒に大東地区フィールドワークに取り組んだ。忠霊塔では戦争の悲惨さや大東地区の住民の忠霊塔を建てた思いについて考えた。山王塚古墳では、国内最大の上円下方墳であることを自分の目で確かめ、日光東照宮でお馴染みの「三猿さがし」をした。西福寺では馬頭観音に込められた思いやおまじないの役割があったこと、菅原神社では菅原道真が愛した梅の木で、道真の和歌（東風吹かば）を朗読した。

多くの子供たちが、「大東地区には、たくさんの歴史的なものがあつた。」や「16号は旧道と新しい道の2本があることが分かった。」「歩いて疲れたけど、楽しかった。」などの前向きな感想を話してくれた。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

添付資料

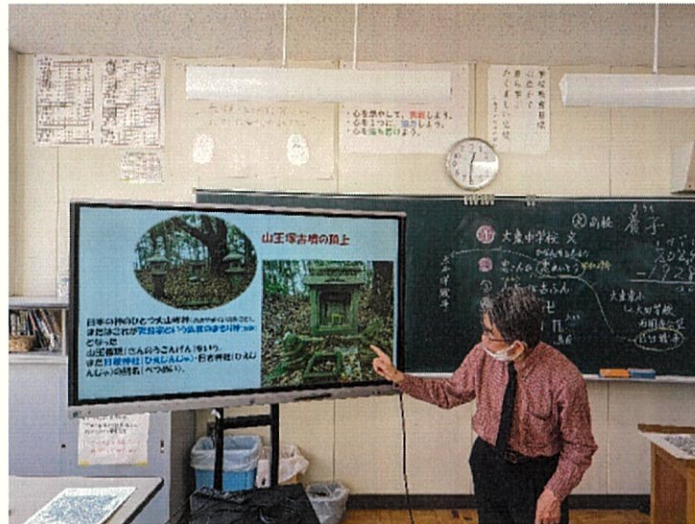
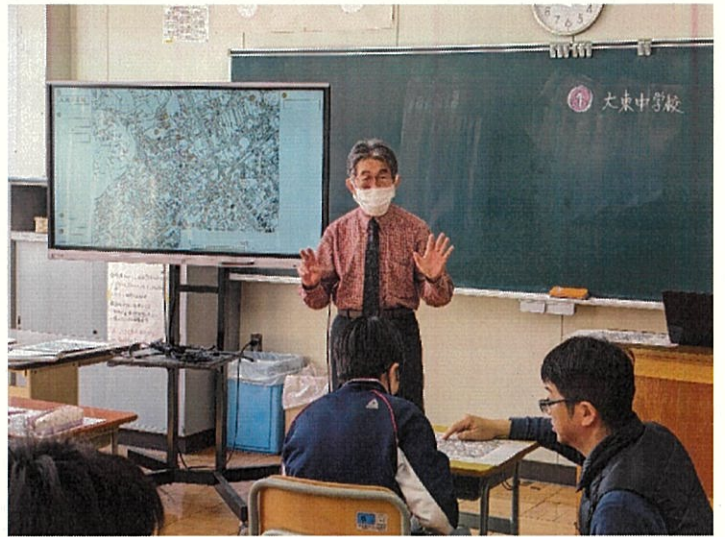
(1) 画像



講師：松尾氏による「国道16号の歴史と役割（働き）」の授業



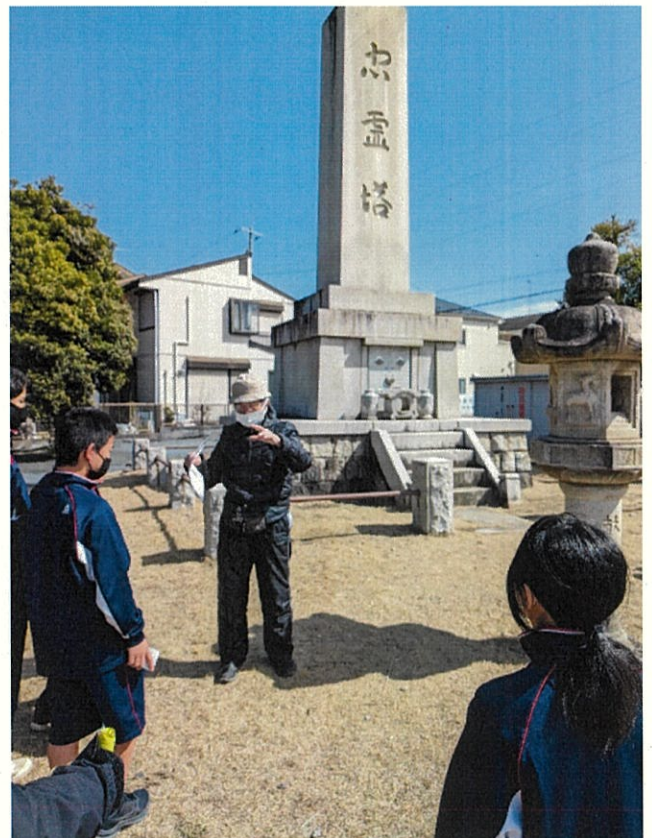
廃線路（旧）西武鉄道安比奈線のフィールドワーク



講師：松尾氏による大東地区の歴史的環境と地図の見方について



忠魂碑の説明をする松尾氏





国の重要文化財に指定された山王塚古墳にて（上・右）



もちつき踊りが有名な西福寺（下）



菅原神社で菅原道真の和歌を詠む



（2） 授業資料等

- ① ガイダンス
- ② 国道 16 号と横須賀・横浜
- ③ 西武鉄道の役割
- ④ 西武鉄道安比奈線の役割
- ⑤ 安比奈線フィールドワーク地図
- ⑥ 大東地区フィールドワーク地図



大好き 大東！
～大動脈と廃線路の軌跡～

だいどうみやく

大動脈とは

「国道16号」のこと



16号って、どんな道路？

これから学習すること

- 国道16号の役割
- 国道16号の歴史
- 国道16号と周辺地域の環境

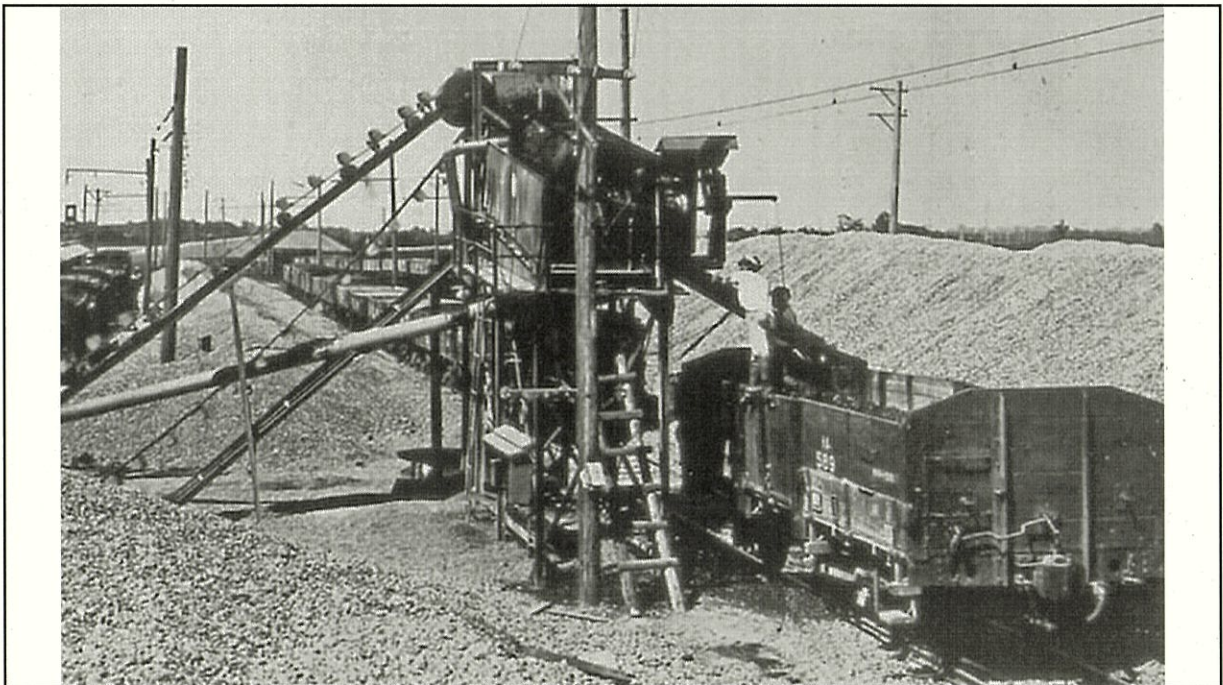
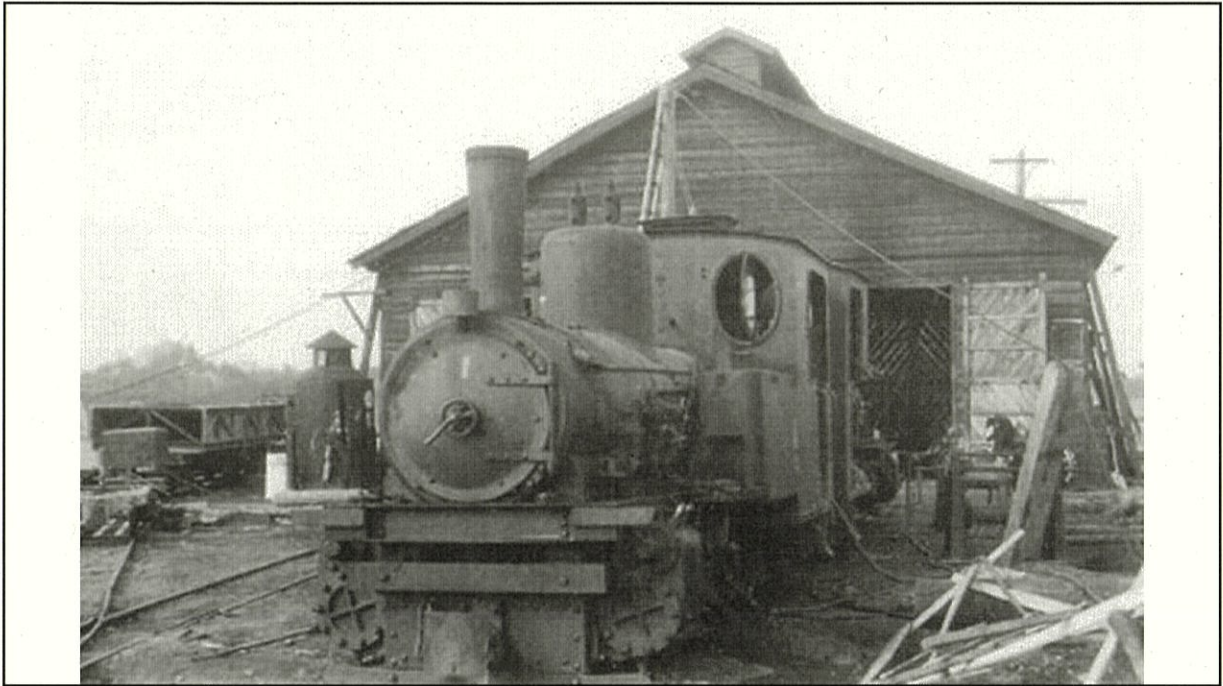
はいせんろ

きせき

廃線路の軌跡とは

あいな せん

「安比奈線」のこと



安比奈線は、どんな鉄道だったの？

いるまがわ

じゃり

入間川の砂利

を運ぶ鉄道





どうして砂利を運んだの？

これから学習すること

- 安比奈線の役割
- 安比奈線の歴史
- 安比奈線を歩く「安比奈駅」

昔の大東地区

いったい、どんな場所（土地）だったのかな？



○南大塚駅の向こう側（南）は、**お茶畑**

○駅から16号までは、**桑畑**

○16号から大東中までは、**じゃがいもなどの畑**

○大東中から北側は、**田んぼ**

なかでも養蚕（おカイコ様）は、とてもさかんだった！

石川組製糸会社の西洋館（入間市：国道16号沿い）

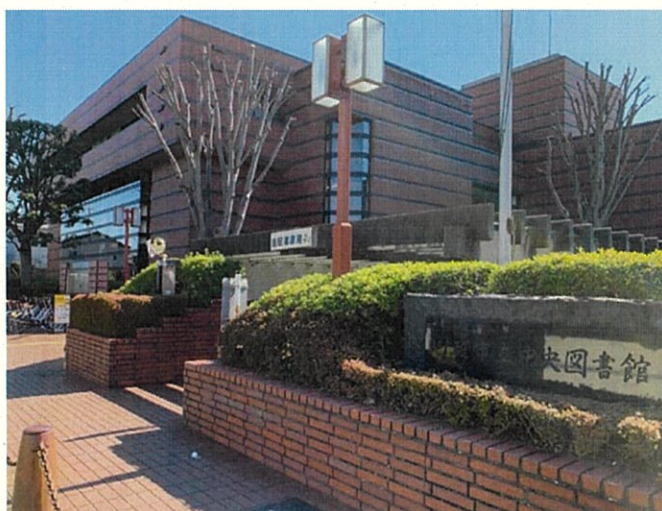


石川幾太郎 氏

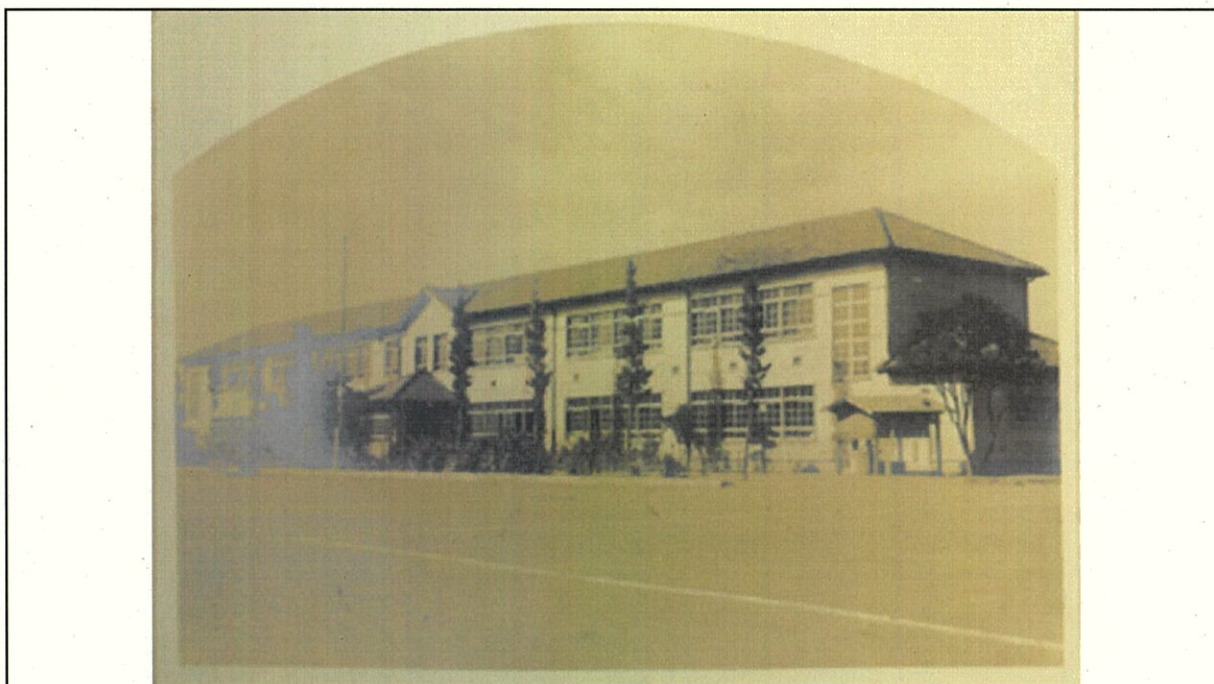
石川組製糸会社の工場が川越にもあった！

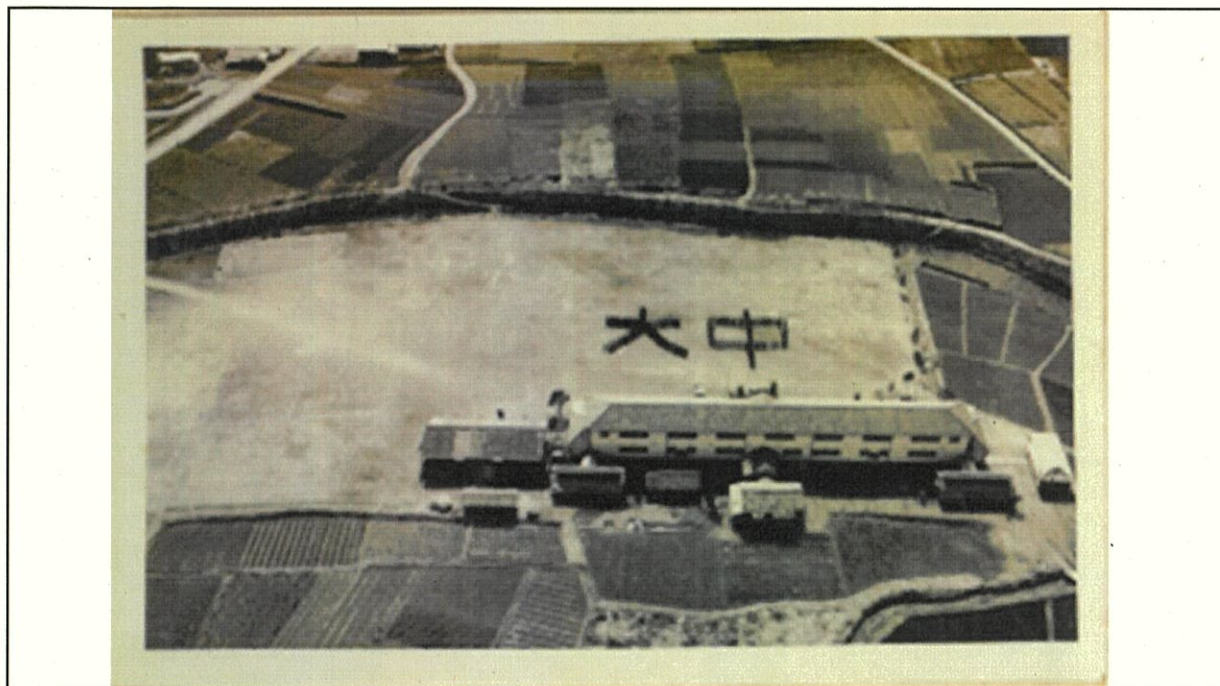


この川越工場があった場所に、今は・・・



川越中央図書館





昭和34年11月20日

大東中

火事で校舎を焼失



火事のあと

- まずは、今の北校舎の右側ができる
- つぎに、今の北校舎の左側ができる
- 最後に、今の南校舎ができる





0m 200m

南大塚駅

「郷土を愛する心」



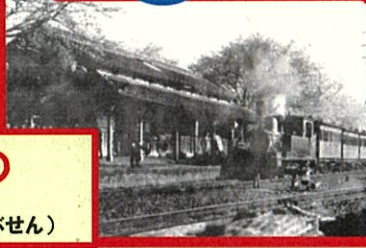
「道」の向(む)こうに何(なに)がある？
まず、家族(かぞく)に伝(つた)えてほしいな！



道路(どうろ)

鉄道(てつどう)

今の
国道(こくどう)
16号線(16ごうせん)



100年前の
西武線(せいぶせん)

文
大東中



関越自動車道へ
(かんえつじどうしゃどう)

国道16号線
(こくどう16ごうせん)



西武線(せいぶせん)
(西武新宿線[せいぶしんじゅくせん])

国道16号線
(こくどう16ごうせん)

西武線(せいぶせん)
(西武新宿線[せいぶしんじゅくせん])

国道16号線(こくどう16ごうせん)
このまま行ったらどこへ行く？

旧国道16号線
(きゅうこくどう16ごうせん)

ところで、

「国道16号線
(こくどう16ごうせん)の
マークは、
どんなマークかな？」



川越(かわごえ)

大東地区(だいとうちく)

狭山(さやま)

入間(いるま)

福生(ふっさ)

八王子(はちおうじ)

相模原(さがみはら)

町田(まちだ)

横浜(よこはま)

横須賀(よこすか)

昨日(きのう)学習(がくしゅう)した江戸時代(えどじだい)のおわりから明治時代(めいじじだい)のはじめに活躍(かつやく)した「西郷隆盛(さいこうたかもい)」がいたころ。川越(かわごえ)や狭山(さやま)、入間(いるま)の人たちも日本(にほん)のために今(いま)の国道16号線もつかって仕事(しごと)をしました。



2回目(かいめ)にきたときの様子 P162



ペリーは、一八五三年と一八五四年、日本に貿易交渉にきました。



P163

マシュー・ペリーと
四艘(よんぶね)の
黒船(くろふね)

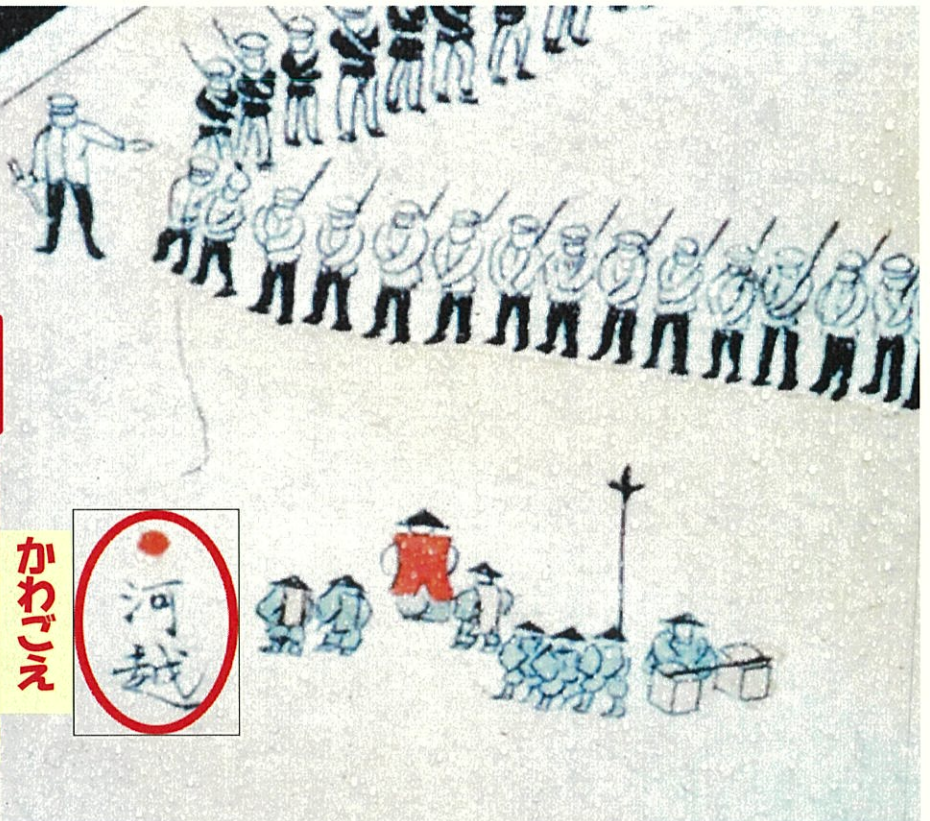
川越藩
かわごえはん

1回目(かいめ)にきたときの様子

嘉永(かえい)6年(1853)アメリカのマシュー・ペリーが横須賀(よこすか)の浦賀(うらが)・久里浜(くりはま)にきました。目的は、日本(にほん)と貿易(ぼうえき)をするためでした。そのとき、川越城(かわごえじょう)の殿様(とのさま)たちが中心(ちゅうしん)となってペリーを向(む)かえたのです。

アメリカの兵隊(へいたい)をむかえる、川越城(かわごえじょう)の殿様(とのさま)と家来(けらい)たち

川越城本丸御殿
かわごえじょうほんまるごてん



かわごえ





天保13年(1842)川越城の殿様(とのさま)が
 作った大津陣屋(おおつじんや) (復元模型)



久里浜港(くりはまこう)のフェリーターミナル

今(いま)、久里浜(くりはま)は、どのようになっ...

明治(めいじ)6年(1873)

…国(くに)は、絹糸を輸出するために「横浜生糸改会社(よこはませいしあらためかいしゃ)」をつくる。明治10年(1877)に「生糸検査所(せいしけんさじょ)」となる。ここで、もと川越藩御用商人(かわごえはんごようしょうにん)であった吉田幸兵衛(よしたこうべい)は、国のために活躍(かつやく)した。

明治のはじめごろ(今から150年ほどまえ)の横浜港(よこはまこう)

親が西洋人とのやりとりする姿を見て英語の勉強もしようがなほり、三十歳で川越に学校をつくった。



川越で着物や糸を売る店をしていた星野という商人は、横浜で外国に売ることもした。まだ、小学生だった娘の「いち」は、父



国道16号線(こくどう16ごうせん)で

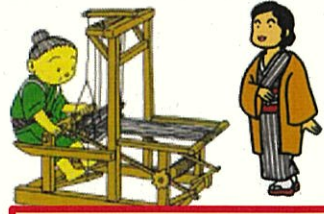
川越(かわごえ)と結(むす)ばれている今(いま)の横浜港(よこはまこう)



外国にも出かける豪華客船「飛鳥」



大型客船につぼん丸



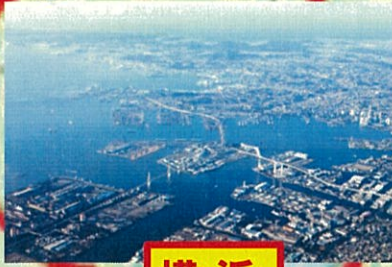
桑の都 八王子織物
くわ みやこ はちおうじおりもの



織物のまち川越
おりもの かわごえ

川越

八王子



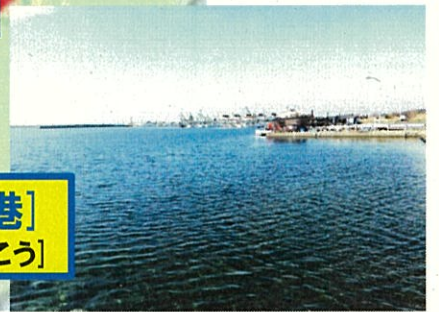
横浜
よこはま

横須賀
よこすか

富津 [漁港]
ふつつ [ぎょこう]



ペリー公園



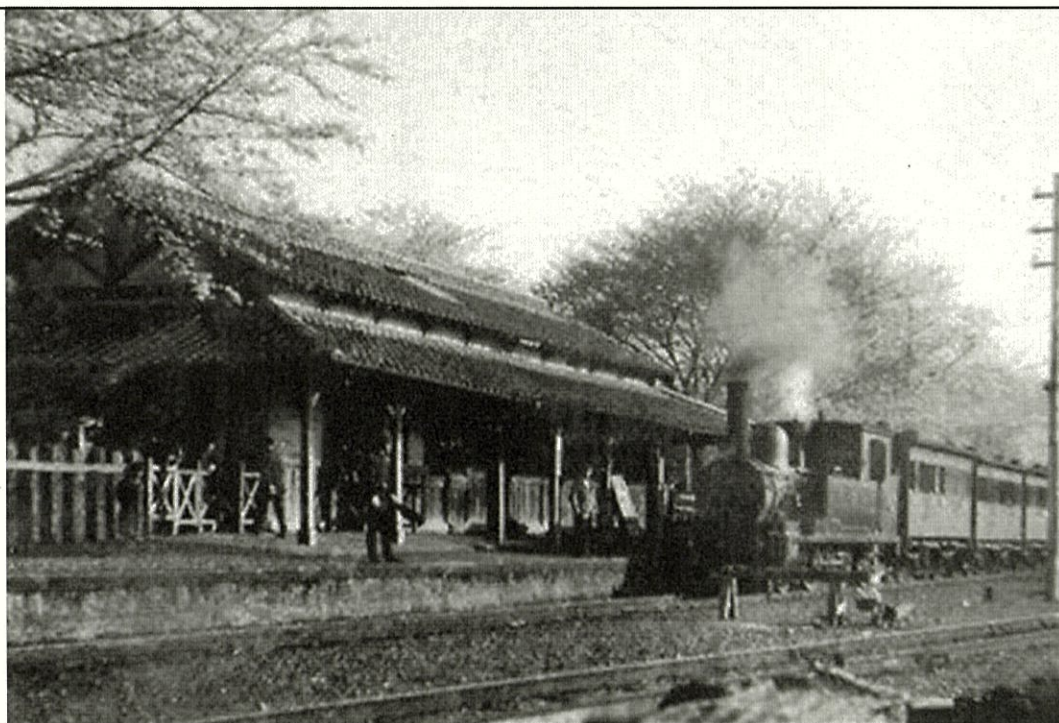
下の「 」にあてはまる
言葉(ことば)は・・・

- ①海
 - ②山
 - ③川
- どれでしょうか？

国道16号線(こくどう16ごうせん)は、
東京をまん中にし、円(えん・まる)
をえがくように、
「海(うみ)」のまちと、
「海(うみ)」のまちをつないでいる。

せいぶ せん れきし わくわり
西武線の歴史と役割

せいぶせん かいつう むかし せいかつ
西武線の開通が、昔の人たちや私たちの生活に
えいきょう あた
どのような影響を与えたのだろうか？



- 明治28年（1895年）今から128年前に開通
- 川越鉄道（現西武新宿線）の川越駅（現本川越駅）と東京の国分寺を結ぶ

川越 ⇄ 国分寺

- お米やお茶、織物を東京や横浜に、**短時間で・大量に**運べるようになった。

- 明治28年の記録 貨車**19**両と客車**12**両
- 明治43年の記録 貨車**9**両と客車**12**両
- 現在 客車**10**両と貨車**0**両



今は貨車がない

鉄道の役割：**もの**と**人**を運ぶため



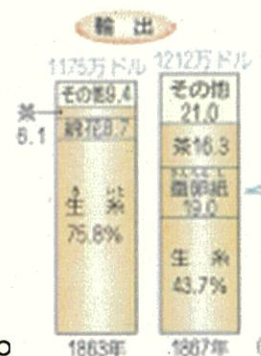


○西武鉄道は、**地域の特産物を集める**ために駅をつくった。

○お茶や織物、お米などの品物を**東京や横浜**に鉄道で運んだ。

○お茶や生糸は、外国に輸出された。

○当時の鉄道は、**ものを運ぶ手段**として活用されていた。



せいぶ せん
むかしの西武線には、

やくわり
どんな役割があったかな？



地域の
とくさんぶつ
特産物



渋沢栄一

大隈重信

西武鉄道は、国の要職についた人物も運んだ

明治44年4月撮影 喜多院にて

せいぶ しんじゆく せん
西武新宿線

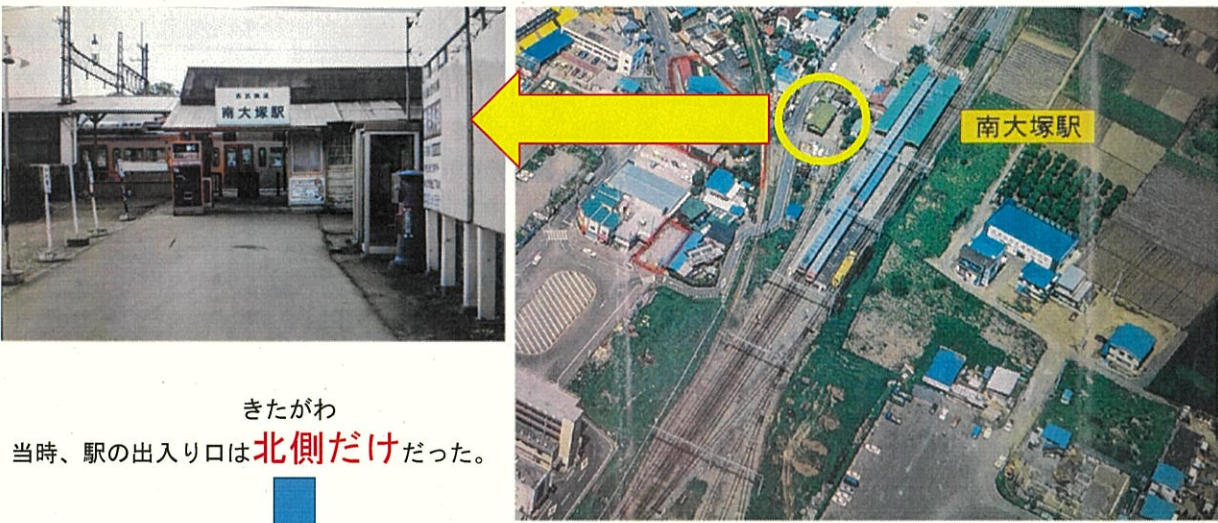


みなみおおつか えき れきし

南大塚駅の歴史



昭和50年頃の南大塚駅

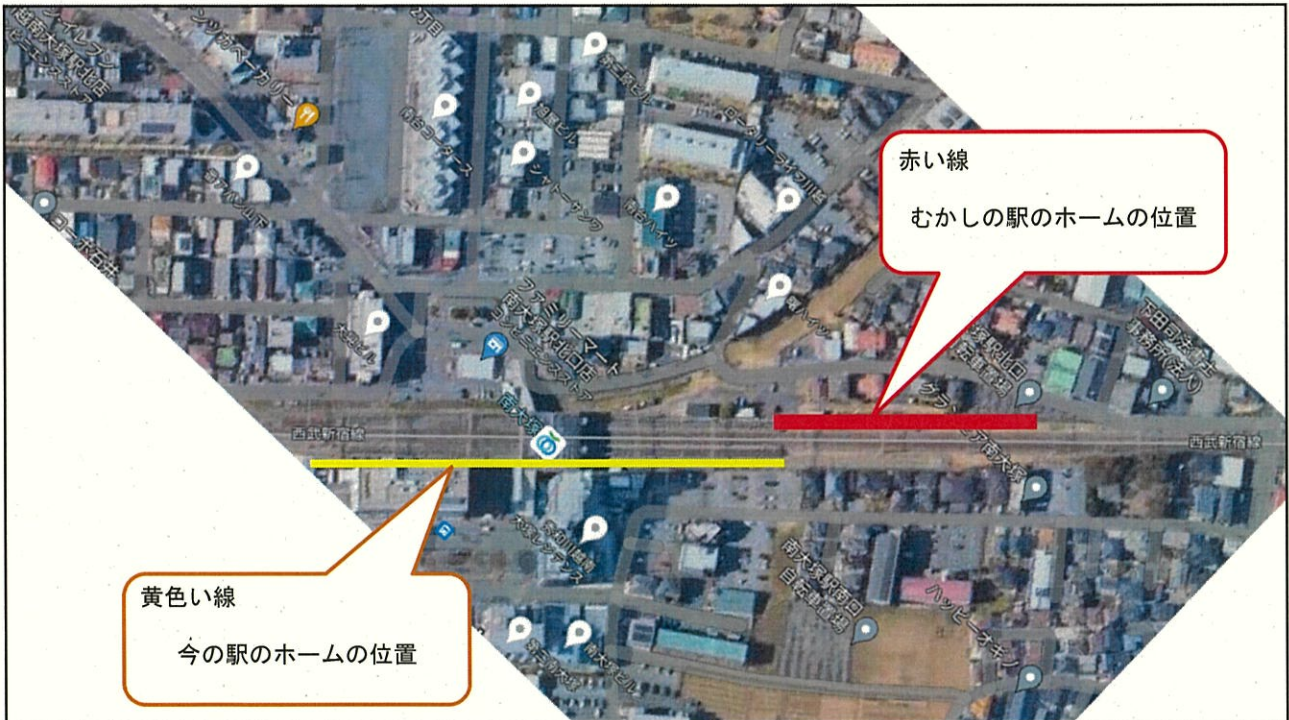
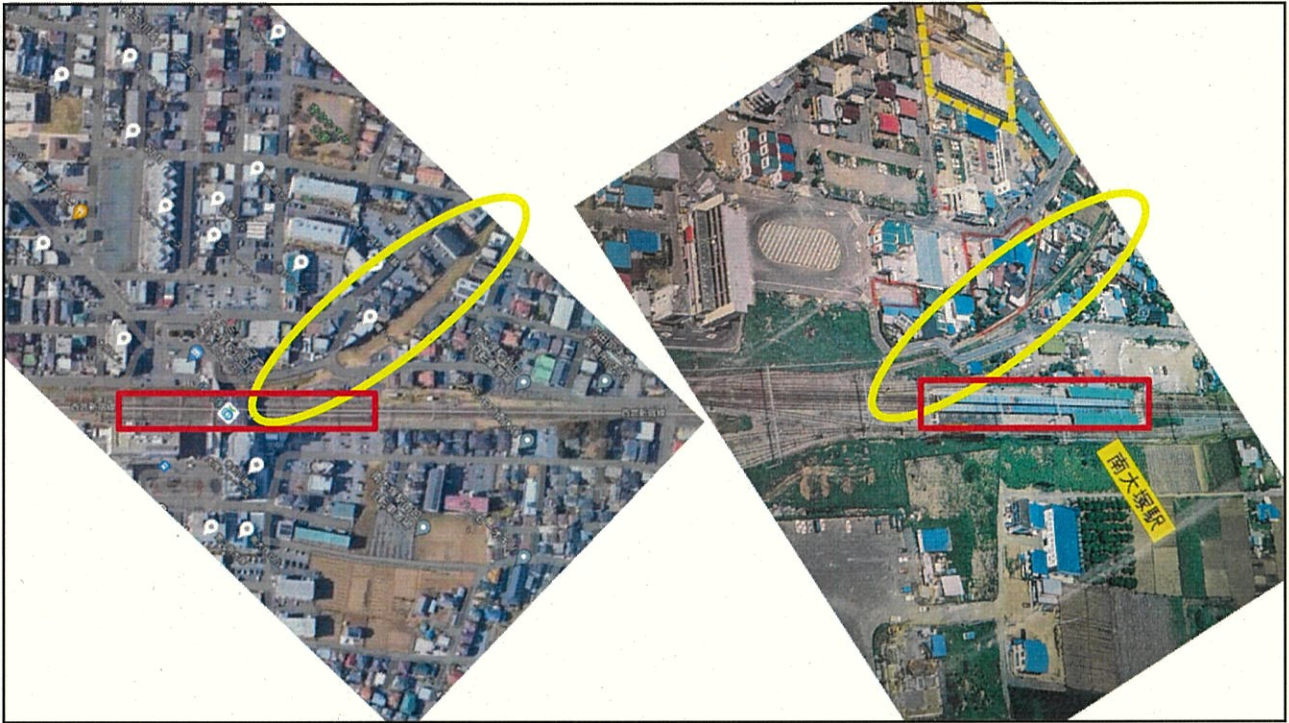


きたがわ
当時、駅の入出口は北側**だけ**だった。

えいきょう
くらしに、**どんな影響**があったかな？

南大塚駅





昔ホーム（駅）だった場所を通過する電車



今の南大塚駅



北口

南口

南大塚地区に住む人たちが、駅を

より安全に、より便利に、より快適に

利用できるようにするために、

ホームを移動させ、

川越市

南北の出入り口とロータリーを新設した。

(昭和51年：川越市の町開発の要請に西武鉄道が応じた)

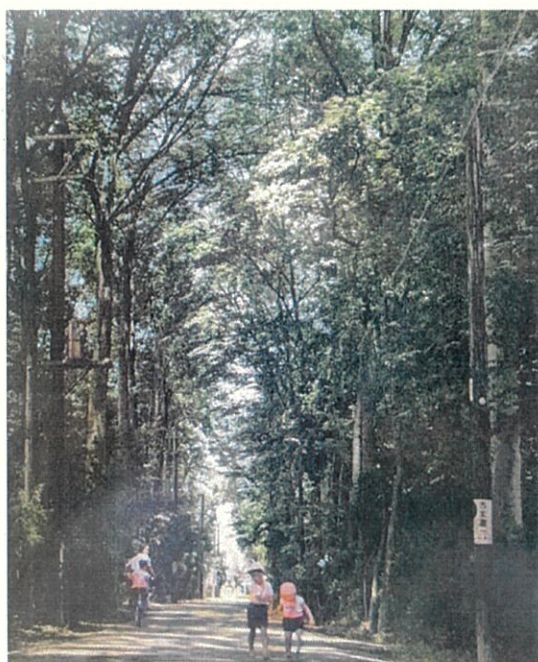
○北と南に出入り口をつくったのは、なぜ？
～どんな「いいこと」があるかな～

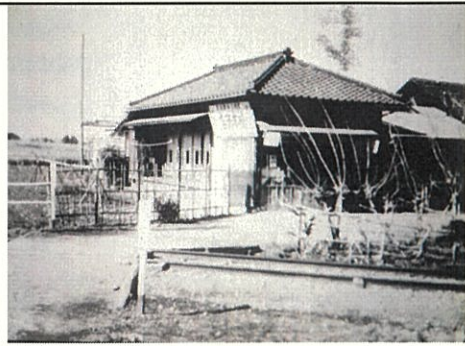
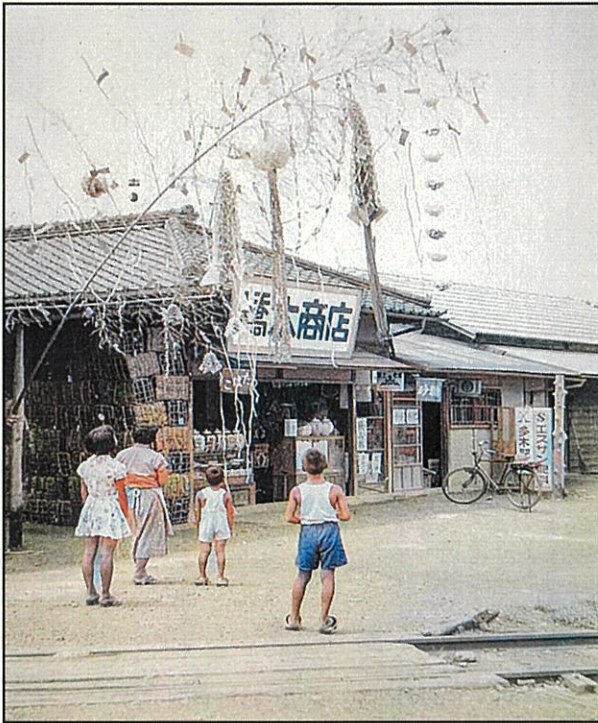


きたぐち
北口

みなみぐち
南口

きょう がくしゅう かんそう か
今日の学習の感想を書こう



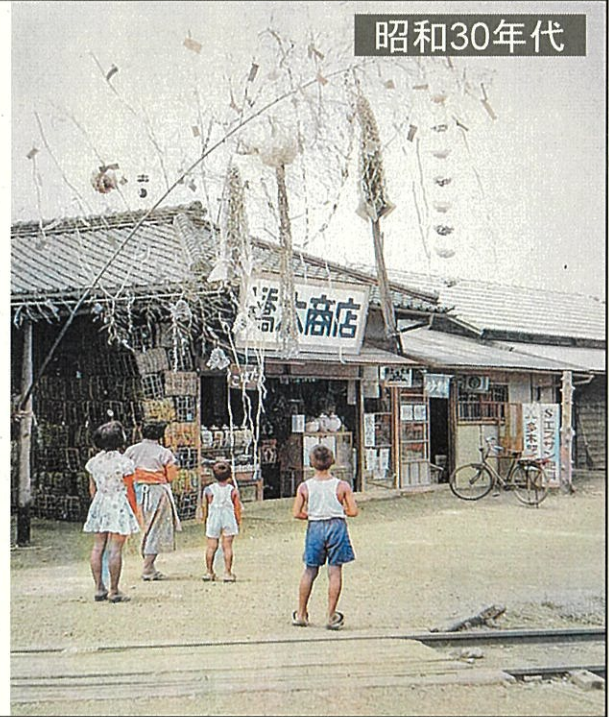


現在



みせさき(てんとう) む き
店前(店頭)の向きがちがうことに気づきました。
せんろがわ(あひなせん) む みせ ひら
むかしは、線路側(安比奈線)を向いて、お店を開いていました。

昭和30年代



昭和30年代 南大塚駅付近から新狭山駅(西)方向をながめる

せいぶ せん
むかしの西武線には、

ひと はこ やくわり
ものと人を運ぶ役割があった



地域の
とくさんぶつ
特産物





南大塚地区に住む人たちが、駅を

あんぜん べんり かいてき
より安全に、より便利に、より快適に

利用できるようにするために、

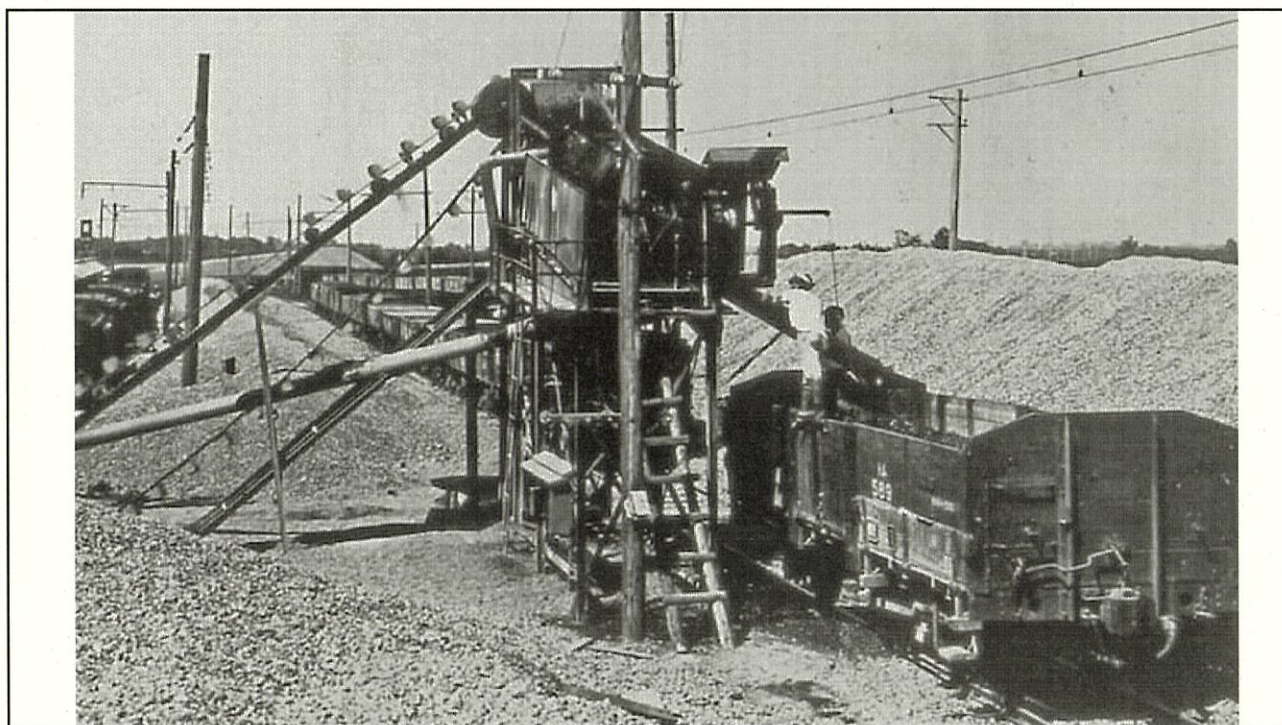
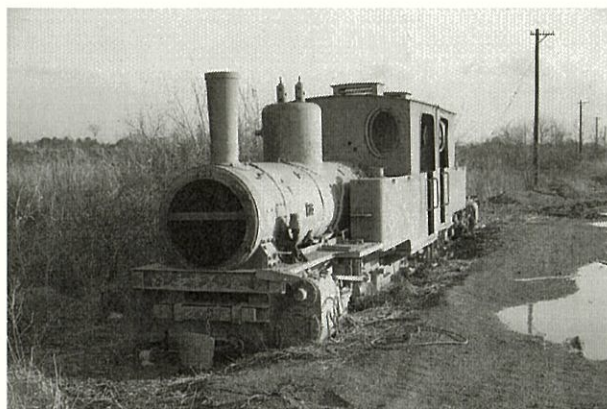
いどう
ホームを移動させ、

川越市

南北の出入り口とロータリーを新設した。

(昭和51年：川越市の町開発の要請に西武鉄道が応じた)

あいな せん れきし やくわり
安比奈線の歴史と役割



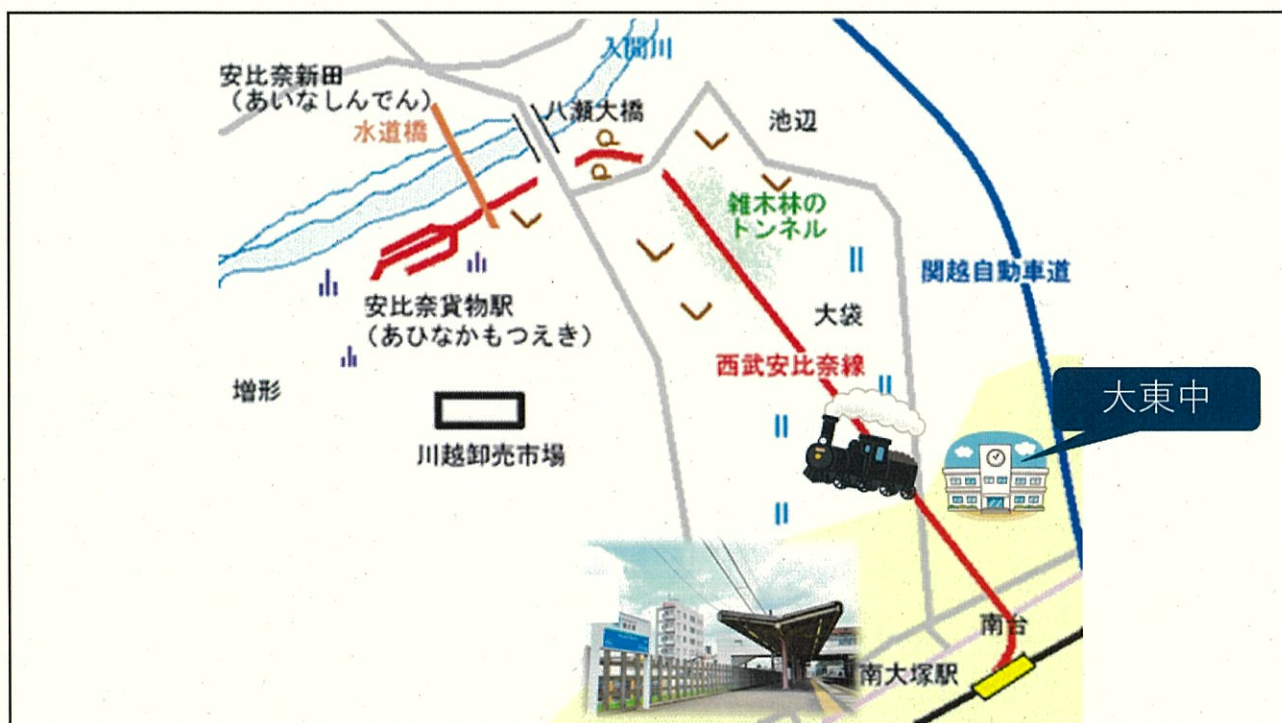
みなみおおつか えき あいな えき
 ○南大塚駅～安比奈駅 3.2km

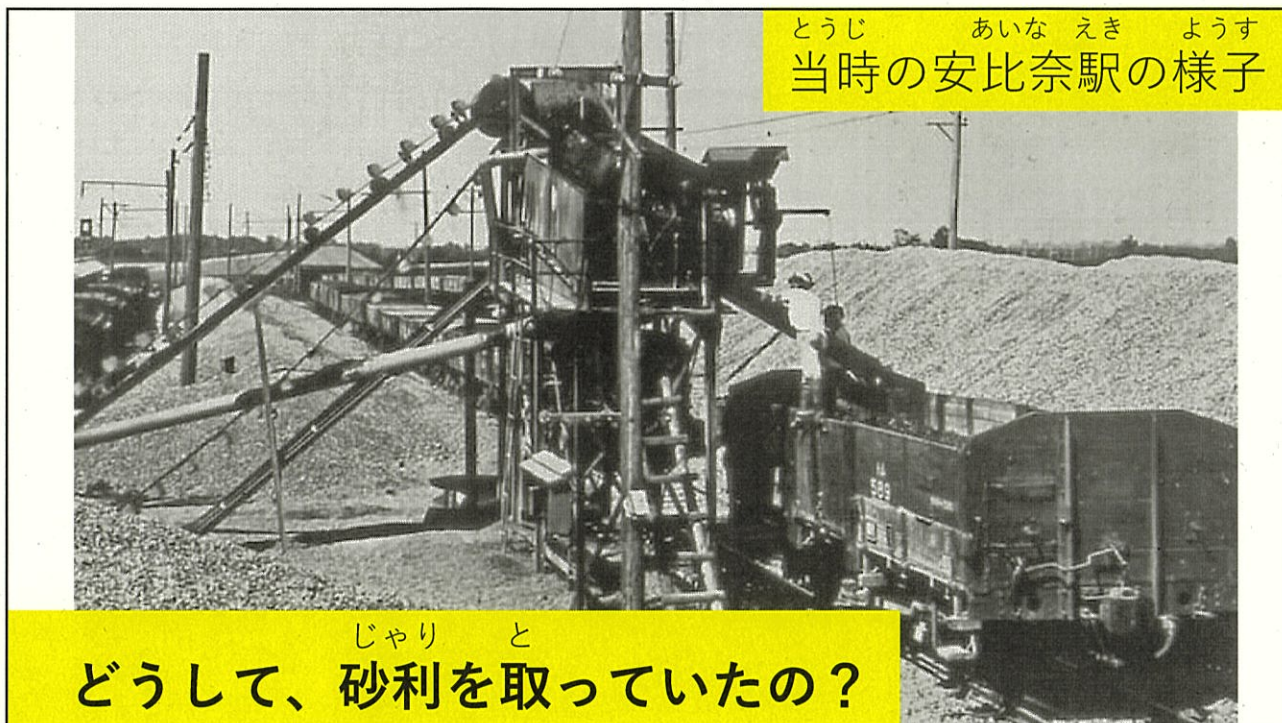
たいしょう かいぎょう
 ○大正14年（1925年）に開業

いるまがわ じゃり さいしゅ じゃりせん
 ○入間川の砂利を採取 「砂利線」

○1963年（昭和38年）まで。

いご きゅうせん せいしき はいせん
 以後休線、2017年（平成29年）正式に廃線





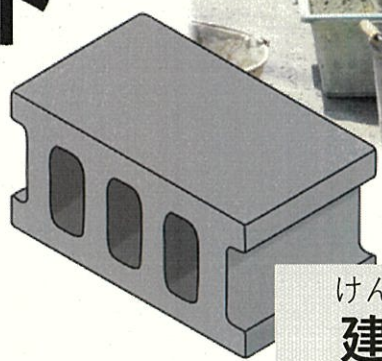
じゃり と りゆう
砂利を取っていた理由

セメント

コンクリート



すな
砂



けんちくしざい
建築資材

じゃり と りゆう わ
砂利を取っていた理由は分かった！

じゃり たいしょう ねん と はじ
なんで砂利を大正14年から取り始めたの？

にほん じゃり けんちくしざい ひつよう
日本は砂利（→建築資材）を必要とする
おお できごと
大きな出来事があったのです！！



たいしょう ねん かんとう だいしんさい
大正12年9月1日 関東大震災

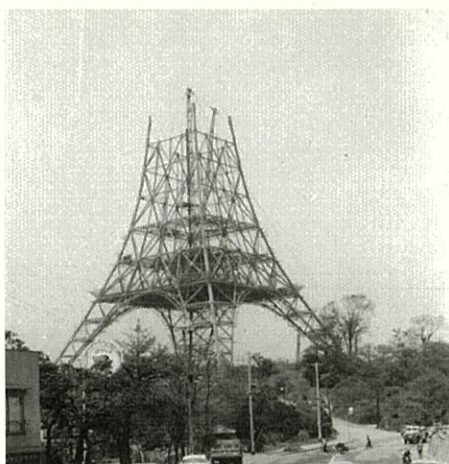
ひつよう
どうしてコンクリート（セメント）が必要だったの？

しょうわ つぎ
昭和になっても、次は



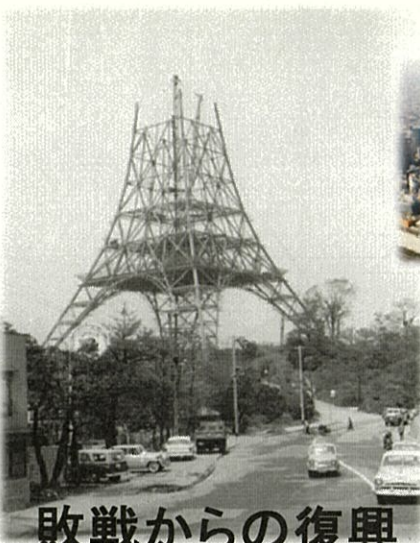
はいせん や のはら にっぽん た なお ふっこう
敗戦で焼け野原となった日本の立ち直り（復興）

じゃり けんちくしざい つか
砂利は、建築資材としてたくさん使われた！



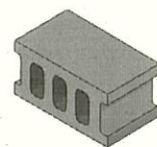
とうぎょう せんご ふっこう しょうちょう
東京タワーは、戦後復興の象徴だった！

あいな せん なに はし
安比奈線は、何をするために走っていたの？



関東大震災

敗戦からの復興



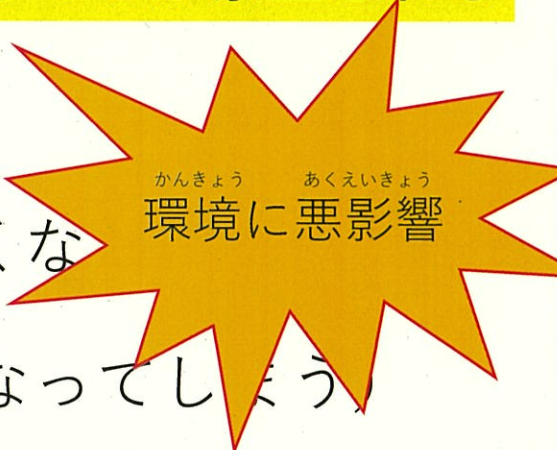
しょうわ ねんだい かわじゃり と きんし
昭和40年代、川砂利を取ることが禁止される

かわ みず よご
川の水が汚れる

さかな たまご う ばしょ
魚の卵を産む場所がなくな

すい ていか かわ あさ
水位の低下（川が浅くなってしま

ぎょぎょう ようしょくぎょう など ひがい
漁業・養殖業等に被害がでる



かんきょう あくえいきょう
環境に悪影響

しょうわ ねんだい かわじゃり と きんし
昭和40年代、川砂利を取ることが禁止される

かわ じゃり つか
川の砂利がだんだんと使われなくなった

じゃり さいしゅ ほう しょうわ
砂利採取法（昭和43年）

じゃり と きせい つよ
→砂利を取る規制（きまり）が強くなった。
す かって と
好き勝手に取れなくなった。



南大塚駅近くの線路跡

(2023年11月1日 永野撮影)

駅近くから国道16号方面に向かう線路跡

(2023年11月1日 永野撮影)



国道16号を横切る線路跡

(2023年10月3日 永野撮影)



安比奈駅に向かう線路跡

(2013年11月4日 永野撮影)



安比奈駅手前

(2013年11月4日 永野撮影)



あいな えぎてまえ せんろ わ
安比奈駅手前ここから線路が分かれる
(2013年11月4日 永野撮影)



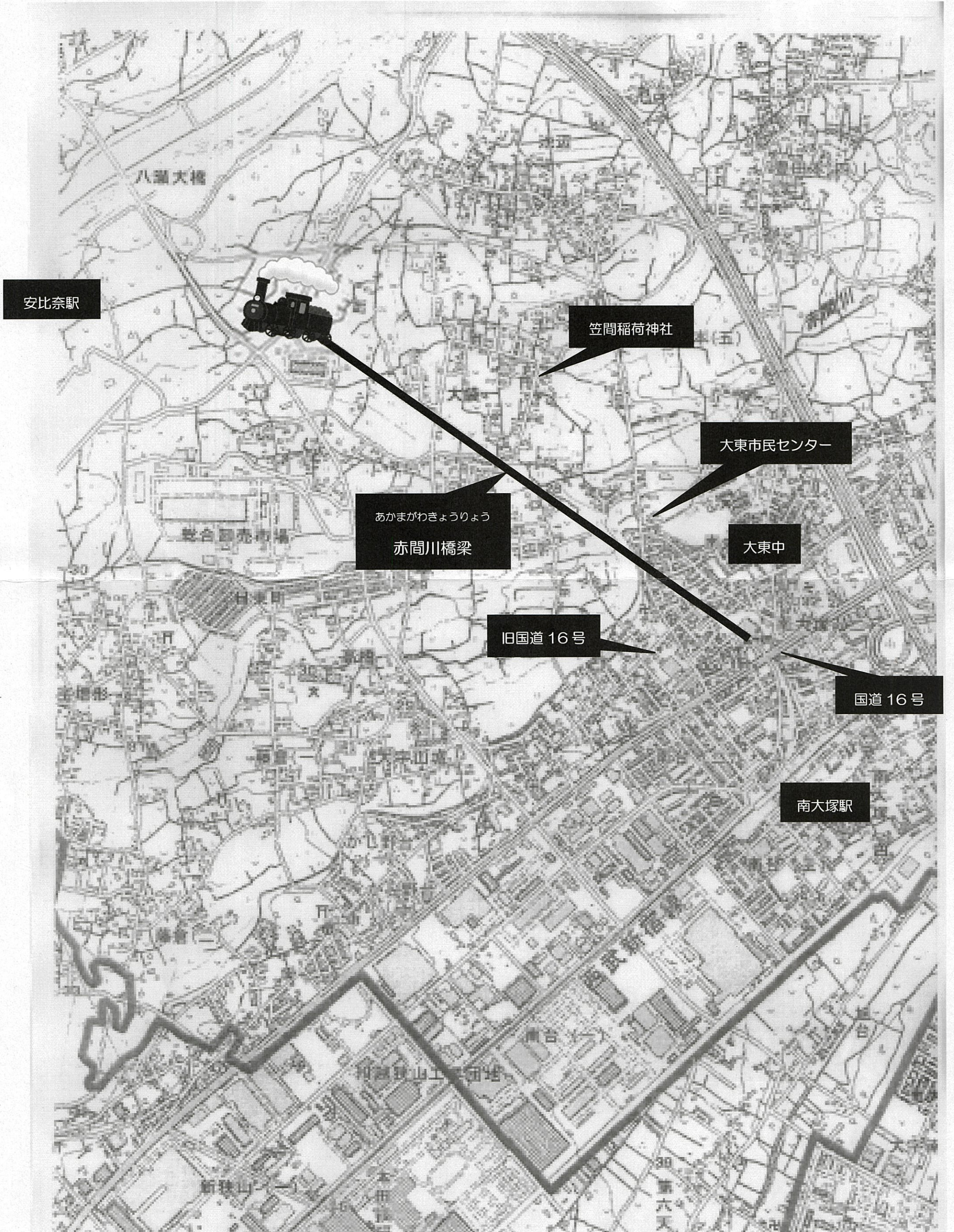
あいな えぎ
安比奈駅
(2013年11月4日 永野撮影)

じっさい　　じぶん　　め　　はいせんろ　　み　　い
実際に、自分の目で廃線路を見に行こう！

そして、^{ある}歩こう！

11月〇日（〇）5・6時間目

安比奈線跡を歩いてみよう！



①

②

と

④

⑤



③

こち ふかば

にほ^おひ おこせよ うめ^{はな}の花

あるじ なしとて

春^{はる}を わするな

すがわら みちざね